

認知症高齢者等見守り二次元コードシール交付事業

1 趣旨・目的

認知症高齢者の数は年々増加しており、それに伴い認知症により行方不明となる事案も増加している。市では、認知症等で行方不明になおそのある高齢者について、関係機関と連携し、早期発見・保護につなげる「佐伯市 SOS ネットワーク事業」を実施している。この度、SOS ネットワーク事業の一環として、「認知症高齢者等見守り二次元コードシール交付事業」を開始する。認知症になっても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症高齢者の心身の安全と家族や介護者の負担軽減に繋げることを目的としている。

2 事業概要

認知症等で行方不明になるおそれのある方に対し、衣服や持ち物に貼り付ける二次元コードシールを配布し、行方不明になった際、発見者が高齢者の衣服等に貼り付けられている二次元コードを読み取ることで、家族等とやり取りができ、早期発見、保護につなげるもの。

3 対象者

「佐伯市 SOS ネットワーク(※)」に登録されている方

※認知症等により、行方不明となるおそれのある高齢者等について、関係機関とネットワークを構築し、早期に発見・保護・危険防止につなげる事業。

4 二次元コードシール使用の流れ

- ① 保護対象者についての基礎情報を事前登録する。
- ② 二次元コードシールを保護対象者の衣服や持ち物に貼付ける。
- ③ 発見者が保護対象者の衣服等にある二次元コードを読み取ると、保護者(介護者)にシステムから自動的にメールが配信される。
- ④ 発見者が「発見場所」「現在の居場所」「健康状態」等を記載して送信すると、保護者(介護者)にメールが配信される。保護者(介護者)はメール記載の URL から伝言板に手動で遷移する。
- ⑤ 発見者が伝言板に書き込みを送信すると、保護者(介護者)にメールが配信される。
- ⑥ 伝言板を通じてやり取りを行い、ご家族等が対象者を引き取る。

※双方の個人情報(氏名、連絡先等)のやり取りは不要で、個人情報は特定されない。

※事前登録する内容

- ①ニックネーム ②生年月日 ③性別 ④身体的特徴 ⑤既往症歴
- ⑥保護時に注意すべきこと ⑦発見通知メール送信先アドレス(10件まで登録可)

5 配布枚数

1人30枚(耐洗シール20枚、蓄光シール10枚)



“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



6 費用負担

無償(初回配布分のみ)

※追加でシールが必要な場合は、利用者の負担による

7 申込方法

「佐伯市 SOS ネットワーク事業登録届」に必要事項を記入し、高齢者福祉課に提出

8 事業開始時期

令和7年1月から

9 県内他市町村の状況

【二次元コードを活用した事業を行っている市町村】

大分市、別府市、由布市、日出町

【見守りキーホルダー】

日田市、国東市

○二次元コードシール事業の導入は、県内で5番目

○二次元コードを読み取ることで、ホームページなどにつながり、警察などへの案内を実施している市町村はあるが、読み取りにより、直接家族に通知されるシステムの導入は、大分県内では佐伯市が初めてである。

10 その他

・SOS ネットワーク事業登録者 66人(令和6年12月末時点)